

# 奥大山江府学園通信

第5号

令和3年1月

江府町義務教育学校設置準備委員会事務局（江府町教育委員会事務局内）

## 校歌・校章、決定！

1月15日（金）に、第9回準備委員会を開催し、これまで協議されてきた奥大山江府学園の校歌と校章が次のように決まりました。

### 【校歌について】

江府中学校の校歌を元に、必要最小限の歌詞変更により、新しい校歌とする。

#### 【変更した歌詞】

「ああ 江府中」

↓

「ああ 江府学園」

#### ＜校歌選定の経緯＞

- 現在の江府中学校の校歌は長年町民に歌い継がれており、この校歌を残したいという思いが強かった。
- 江府中学校の校歌の歌詞をそのまま新しい学校の校歌にすることはできないことを確認し、以下の点を考慮に入れ、江府中学校の校歌を新しい学校の校歌にすることについて検討した。
  - ①作品としての校歌の形をできるだけ残すため、リズム（音符）を変えずに歌詞だけを変更する。
  - ②歌詞の変更も必要最小限の変更とするため、「江府中」の部分のみを変更する。（「ああ」という歌詞も大事な意味がある）

準備委員会では、新しい校歌をつくるということも含めて話し合いを始めましたが、町民のみなさんの思いも踏まえ、江府中学校の校歌を残す方向で検討を進めてきました。その中で、改めて現在の校歌の歌詞に込められた意味やリズム・メロディの意図などを確認し合う中で、以上のような結論に至りました。

委員会では、作品として出来上がっている校歌の歌詞を変えることの是非についても、意見が交わされました。江府中学校の校歌の作詞をされた草野心平さん

は、小学校の教科書に作品が掲載されたこともある日本を代表する詩人です。草野さんは、校歌の作詞も数多く手掛けておられますが、その中には、草野さんご自身や遺族の方の了承の下、校名変更に伴い校歌の歌詞の一部を変更した学校があることもわかりました。また、遺族の方も「（歌詞を変更して）歌い継いでいただくことはありがたい」といったお気持ちだということも確認をしました。

校歌は歌い継がれることで、その歴史を刻んでいきます。奥大山江府学園に通う児童生徒が高らかに歌い継ぐとともに、町民のみなさんに愛される校歌であり続けたいと思います。

### 【校章について】

公募により応募のあった112作品の中から、木野田博彦さん（埼玉県さいたま市在住）の方の作品に決まりました。木野田さんは、直接江府町と関わりがあったわけ

はありませんが、「江府町を応援してくださる方」として応募され、準備委員会からお願いした度々の修正依頼も快く引き受けてくださいました。



#### 【応募者によるデザインの説明】

江府町のシンボルの木、ブナの葉と大山を図案化して描き、希望の象徴虹でもあり清らかな川の流れても重ね合わせた。更にその周囲に5人の児童生徒が手をつないでいる様子を描いた。奥大山江府学園の児童生徒が携え、協力し合い、地域の中で育まれ希望に向かって成長し、いつの日か自分の花を咲かせてほしいという思いを込めた。

制服やPTA組織等についても、学校やPTAを中心に話し合いが進められています。少しずつ形が見えてきた「奥大山江府学園」。引き続き、町民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

【お問合せ】江府町義務教育学校設置準備委員会事務局（江府町教育委員会事務局内） ☎75-2223